

平成28年度 学校経営報告

都立青山高等学校長 小澤 哲郎

1 28年度の取組目標と方策

(1) 学習指導の充実
ア 指導教諭による授業公開・教員同士の相互授業参観・教職員研修センター等の外部研修の活用による教員個々の専門性の向上と学校全体の教育力の向上 イ 生徒の苦手分野・模擬試験の結果等に関する情報を共有し、実態に応じた適切な指導の充実。アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた指導法の工夫や、学校図書館の活用による主体的な学習活動の促進 ウ 国公立大学進学に対応した学習指導と幅広い教養を身に付けさせるための全科目履修・修得。長期休業期間中の講習、平常授業期間中の補習、自習室の開放やチューターの配置等の支援などによる学習習慣の徹底 エ 全教科におけるオリンピック・パラリンピック教育、障害者理解、障害者スポーツの理解、主権者教育、防災教育、アレルギー疾患に係る教育、人権教育等の喫緊の教育課題に対応した教育実践 オ 英語教育推進校としてのICT機器を活用したオンライン英会話学習や、各教科における日本及び諸外国の伝統文化等についての学習による国際社会で活躍できる人材の育成
(2) 進路指導の充実
ア 進路指導部、学年、各教科の連携による系統的・計画的な進路指導。難関国公立私立大学への進学実績の一層の向上。生徒一人一人に対応した指導を検討する進路職員会議の実施。生徒の進路実現支援、進学指導の一層の充実を目指す全教職員の意識共有 イ 新教科「人間と社会」による望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育の推進 ウ 自己管理能力や、コミュニケーション能力の向上等に資する指導。論文・作文等の文章表現力、接遇の仕方など、将来の社会生活に役立つ力の育成
(3) 生活指導の充実
ア 公共心や道徳心の涵養。規範意識を高めさせ、自尊感情を高揚する取組 イ 自他の生命や人権を尊重する豊かな心や態度の育成 ウ 基本的生活習慣の定着。礼節指導の徹底による自立した社会生活を営むための基礎を育成
(4) 特別活動の充実
ア 学校行事の教育的意義やねらいを踏まえた内容の改善 イ 部活動加入率の一層の向上。健康な体づくりの定着。生涯にわたり健康で文化的な生活を送るための基礎の育成 ウ 主権者教育を踏まえた生徒会活動の充実
(5) 生徒の健康づくりの充実
ア 学校保健計画に基いた生徒の心身の健康づくりの計画的推進。自己管理能力の向上。体力向上に資する取組の推進 イ 発達障害の理解を含め、生徒理解に関わる最新の理論や情報を踏まえた教員のカウンセリング能力の向上、相談体制の充実 ウ スクールカウンセラー、特別支援教育コーディネーターを中心に合理的配慮や支援を必要とする生徒・保護者への継続的な支援。1年生対象のスクールカウンセラーによる全員面接の実施

(6) 広報・募集活動の充実
<p>ア ホームページや学校説明会、都立高校合同説明会等を活用した教育活動の特色や生徒の学校生活の発信</p> <p>イ 小中学生やその保護者に対する広報活動の展開による応募者増大への取組</p> <p>ウ 各種団体主催の学校説明会等での相談対応による志望動機の明確な応募者の獲得</p>
(7) 学校経営の充実
<p>ア 学校経営上の課題解決に率先して取り組む主幹教諭、指導教諭の指導育成。教科及び分掌、学年における主任及び副主任の設置。副主任の活用による主任教諭の育成</p> <p>イ 体罰及び個人情報漏えい等の服務事故防止に向けた管理職による啓発や研修を実施。服務事故ゼロの達成</p> <p>ウ 自律経営推進予算の効率的執行。私費徴収等における適正な管理。80周年記念行事を見据え、経営参画ガイドラインを踏まえた経営参画型経営企画室の実現</p>
(8) 地域貢献の充実
<p>ア オリンピック・パラリンピック教育の一環としての東京ユーズボランティアやスマイルプロジェクトなどのボランティア活動、パラリンピアンや地域の小中学校、特別支援学校との交流を推進</p> <p>イ 地域行事への参加や地域の清掃活動などの校外活動の実施。外苑祭などの学校行事の公開による質の高い教育活動の展開。社会のリーダーになるという自覚や積極的に社会貢献参加する態度の育成</p>

2 成果と課題

(1) 学習指導の充実
<p><成果></p> <p>ア 年間指導計画を作成し、定期考査の目標平均点等を設定した。毎月の教科会で進捗状況を確認し、調整を図った。</p> <p>イ 生徒による授業評価を年2回実施し、その結果を踏まえて指導の工夫・改善を図った。</p> <p>ウ 教員の相互授業見学を年2回実施するとともにアクティブラーニングの公開授業を実施し、授業改善を図った。</p> <p>エ 英語教育推進校として、オンライン英会話や米国大使館職員による英語講演を実施し、実践的な英語力の一層の向上に取り組んだ。</p> <p><課題></p> <p>ア 次期高等学校学習指導要領及び大学入試改革に対応した新カリキュラムの策定</p> <p>イ 授業改善と個々の生徒に対応した補習・講習の一層の充実</p> <p>ウ ICTを活用した学習の一層の充実</p>
(2) 進路指導の充実
<p><成果></p> <p>ア 東京大学現役合格者を6名輩出するなど、進学指導重点校としての教育委員会の目標を達成することができた。</p> <p>イ 進路全体計画を策定し、校内学力テスト・外部模試・講習補習や面談等着実な実施を図った。</p> <p>ウ 進路職員会議を年6回実施し、模擬試験の分析や個に応じた指導方針を検討した。</p> <p>エ 模擬試験の結果を踏まえ、生徒の苦手とする分野を把握した指導の重点化を図るとともに、校長が生徒を激励する訓話を行うなどして生徒の学習意欲を高めた。</p> <p>オ 自習室机に仕切り板を設置してより多くの生徒が活用できるようにするなど、学習環境の整備を行った。</p>

<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ア 教科主任会等による進学指導体制の一層の強化 イ 模擬試験ごとの詳細な分析と進学指導の一層の充実 ウ 難関国公立大学への進学実績の一層の向上
<p>(3) 生活指導の充実</p>
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ア 校長の朝の立哨指導をはじめ、教員が挨拶指導を率先垂範し、礼節指導の充実を図った。 イ いじめ等に関する調査を年3回実施し、言葉やネット上の書き込みを含め、いじめを許さず傍観することのないよう、自他の生命や人権を尊重する豊かな心や態度の育成を図った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ア 基本的生活習慣の一層の定着 イ 相談体制の一層の充実と生徒情報の共有
<p>(4) 特別活動の充実</p>
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ア 活動の加入率は、7月時点で99%、12月時点でも92%（1・2年）であり、多くの生徒が部活動に熱心に取り組んだ。 イ 体育祭や外苑祭に積極的に取り組み、両行事とも多数の保護者、一般の見学があった。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ア 東京都大会等における実績の向上 イ 怪我の未然防止に資する指導の工夫
<p>(5) 生徒の健康づくりの充実</p>
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ア スクールカウンセラーを活用したいじめ対策委員会や青山特別支援学校からのコーディネーターと連携した特別支援委員会を開催し、支援を必要とする生徒の情報を管理・共有し、指導・育成に役立て、継続的に生徒・保護者を支援した。 イ 1年生には、スクールカウンセラーによる全員面接を実施し、コミュニケーション能力不足等課題のある生徒の状況を把握することにより、関係教員と情報を共有し、適切な対応をすることができた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ア 特別支援学校との生徒同士の交流などの更なる連携 イ 欠席がちな生徒への一層の支援
<p>(6) 広報・募集活動の充実</p>
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ア 学校説明会、授業公開、入試問題解説会を開催し、広報活動の充実を図った。 イ ホームページや都立高校合同説明会等を活用して、教育活動の特色等を発信した。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ア 学校案内DVDや過去問題集等の広報予算の効率化及び縮減 イ デジタルサイネージを活用した広報活動の一層の充実

(7) 学校経営の充実
<p><成果></p> <p>ア 空調設備等改修、冷風器の導入、グラウンド整備、体育館照明の改善など、施設・設備の充実の実現の目途をつけることができた。</p> <p>イ 予算執行の健全化を図り、また、私費徴収等における適正な管理を行った。</p> <p><課題></p> <p>ア 教育環境の一層の充実</p> <p>イ 自律経営予算の計画的・効率的執行</p> <p>ウ 主幹教諭・指導教諭の学校経営への参画</p>
(8) 地域貢献の充実
<p><成果></p> <p>ア 新教科「人間と社会」における地域例祭のボランティア活動をとおして、積極的に社会貢献をしようとする態度を育成することができた。</p> <p>イ 地域の警察署、消防署、消防団と連携して防災訓練を行い、防災意識を高めることができた。</p> <p><課題></p> <p>ア 近隣小中学校や特別支援学校と連携した活動の推進</p> <p>イ 新国立競技場に隣接するという地の利を生かした活動の展開</p>

3 今年度の数値目標

		数値目標	28年度実績
1	難関国立大・国公立医大現役合格者	24	16
2	難関国立大学（旧帝大含む）現役合格者	29	22
3	国公立大学現役合格者	110	56
4	難関私立大学（早慶上理）現役合格者	140	126
5	外苑祭来校者	5,000	8,161
6	学校説明会参加者（年3回）	2,000	2,187
7	ホームページへのアクセス数	25,000	38,121